

第15回グリーンプランおおた推進会議議事概要

日時：平成28年2月8日（月）18：00～20：00

会場：消費者生活センター

出席者：【推進会議委員】島田委員長、平賀委員、谷委員、長谷川委員、樋口委員、平澤委員、牧野委員、原田委員、菅原委員、龍口委員、黒澤委員、荒井委員、佐藤委員（欠席1名）

【庁内委員】関係各課長（代理含む）7名

【傍聴者】1名（庁内関係職員5名）【事務局】5名

- 1 開会
- 2 事務連絡
- 3 挨拶（島田委員長）
- 4 議事
 - (1) 第14回推進会議の振り返り
＜事務局より資料説明＞
 - (2) 中間見直し報告について
＜事務局より資料説明＞

委員長

- ・これまで議論してきたことを整理したという認識でお願いしたい。
- ・今日の資料には、まだ写真が入っていないところなど完成してないところがあるが、今年度中、3月までに完成させるのか。

→はい。

＜事務局＞

●委員

- ・この資料は、実際どのように、どこに配布されるのか。
- ・学校教育の場で教えるような時間があると良いと思う。
- ・自分の住んでいるまちを知るという意味でも良い。
- ・そのような利用の仕方もあるのではないか。

→学校などでも、みどりのまちづくりの講演や啓発も進めていきたいと思います。ただし、この冊子はボリュームがあるため、この冊子とは別に、「(仮称)みどりの総合パンフレット」の作成を進めています。こうしたパンフレットでみどりのまちづくりを推進したいと考えています。

＜事務局＞

●委員

- ・これまで義務教育の場でまちづくりを習う機会、話す機会がなかったと思う。

- ・パンフレットも良いが、この冊子は深く書かれている部分があり、理科や社会を複合的に教えることができる良い教材になると思う。

委員長

- ・小学校には総合学習の時間もあり、社会と理科のクロスカリキュラムなどの時間帯を作ってもらえば、龍口委員が発言されたことも可能になると思うが、この冊子は、子供たちには少し難しい。
- ・区民の皆様には先ずは読んで頂く必要があるが、コラムをだいぶ入れて頂いたので、私は読み易くなったと思う。
- ・パンフレットも含めて、これをどのように区民に知らせるかが重要であり、パネルなどを作って、区役所のロビーのところでお知らせするなど、色々な手段があると思う。

●委員

- ・みどりの基本計画は、大田区の色々な計画、東京都の計画と整合させながらまとめたということだが、みどりの基本計画に影響を与えたプランは何か。

→「身近な場所で水や緑に親しめると思う区民の割合」は「おおた未来プラン 10 年（後期）」から出てきた目標で、今回「みどりの基本計画」にも新たな目標として追加しました。また、景観計画は、「みどりの基本計画」の策定後に作成され、景観まちづくり賞などの取組もあり、そのような記述も入れています。環境基本計画とは担当者同士が連携を図りながら進めています。
<事務局>

●委員（まちづくり推進部長）

- ・平成 24 年から毎年、空港臨海部の調査、課題整理を行い、具体的な事業を開始してきた部分もあり、特に臨海部の書きぶりを補強しています。そういう計画の進展に伴う変更などを今回は入れています。

●委員

- ・東京都の計画から影響を受けた項目は何があるのか。

●委員（都市基盤整備部長）

- ・大田区の都市計画マスタープランという計画があります。その中で地域別にみどりを醸成していくことを書いており、そこから引用した記述があります。東京都にも都市計画マスタープランがあり、東京都と大田区のマスタープランは整合がとれています。

●委員（環境清掃部長）

- ・大田区の都市計画マスタープランは、グリーンプランの上位の計画です。大田区は、大田区基本構想という大きな構想を持っています。その 10 カ年の基本計画が「おおた未来プラン 10 年」です。上から順次大きな計画が降りていく流れです。分野ごとにも色々な計画が影響しています。

●委員

- ・今の説明で了解した。

●委員（都市基盤整備部長）

- ・1-3 頁の図に色を付けると、分かり易くなると思います。

●委員（まちづくり推進部長）

- ・今回の中間見直し時で、他の計画がどういう影響及ぼしたのかというあたりの見せ方を事務局で検討したいと思います。

●委員

- ・みどりのパンフレットは、どこに行けばもらえて、どこで配られるのか。

→今日ご審議頂いて、今年度中には印刷し、来年度4月以降に配布したいと考えています。各出張所や図書館、関連部所に置きたいと考えています。

<事務局>

●委員

- ・このような資料は今まで見たことがなく、ほとんどの区民は知らないと思う。
- ・新聞の折込に入れるなど、区民がある程度知っているような配り方が重要である。
- ・是非区民の身近なところで目に止まる方法を考えて頂きたいと思う。

委員長

- ・グリーンプランとパンフレットの両方が、できるだけ区民の目に止まる工夫をして頂きたい。

●委員

- ・緑被率の目標として20年後に緑が60ha、大田スタジアム24個分とある。
- ・これからどうしていくのかについては見当が付いているのかどうか。
- ・目安の数字があれば教えて頂きたい。

●委員（都市基盤整備部長）

- ・公園緑地は、3-10 頁に記載しているものを2031年までに伸ばしていこうという書き方をしています。開発指導の方は実績が年間2.2haであり、今後10年間でそれぐらい伸びるとの想定です。過去の実績以上です。

→みどりの条例で緑化の指導を変えています。かなりレベルアップしましたので、それに従って増えると想定しています。

<事務局>

●委員（都市基盤整備部長）

- ・これから空港の跡地で公園を整備するなどの目算もあります。ある程度実績の中で目標を立てていますが、目標を少し高く持っていることは確かです。

●委員（環境清掃部長）

- ・まちづくり推進部、都市基盤整備部で持っている計画に加えて、「ひとり1平方メートルの緑づくり」もあります。

委員長

- ・先ほどの表の作り方や写真が入っていない頁など、不十分なところがあるが、そのあたりは事務局と私に一任を頂いて、この冊子をご承認を頂いたということによろしいか。

(一同 同意)

(3) (仮称) みどりの総合パンフレットについて

<事務局より資料説明>

委員長

- ・これは何部印刷するのか。

→5,000部を予定しています。

<事務局>

委員長

- ・各戸への配布は無理のようだが、区の予算もあると思うので、どこへ配ると一番効果的なのかを工夫・検討して頂ければと思う。

→情報コーナー、図書館、出張所など身近なところに置くことを考えています。他にご意見等を頂ければ、それも参考にしたいと考えております。

<事務局>

●委員

- ・小学校の生徒へ地区ごとに配る方法があれば良いと思う。

●委員

- ・PTAなどへ配るという手もあるかと思う。
- ・子供がいる親目線で言うと、もう少しレクリエーションの内容があった方が良いと思う。
- ・タイヤ公園の写真があるが、大田区を代表する公園を載せると、楽しい頁になると思う。
- ・生垣造成への助成や屋上緑化・壁面緑化などの事例があるが、イメージを持ってもらうため、実際の写真を掲載すると良いと思う
- ・「クスノッキー」と「うめちゃん」というキャラクターを初めて見たが、このキャラクター達は何者なのか。

→緑に関係する絵柄を入れてはどうだろうかとのアイデアが職員から出ました。そこで、大田区の木であるクスノキ、大田区の花であるウメの木をイメージしたキャラクターを今回載せております。公園の紹介等に関する写真については、検討させて頂ければと思います。

<事務局>

●委員

- ・このキャラクターは、今回初登場なのか。

・今後育てていくということか。

→今回は初登場です。育てるかどうかは、反響にもよります。

<事務局>

●委員

・キャラクターを入れることは良いと思うが、表紙はこれで決まりなのか。

→前回の委員会でも同じような案を提示しています。ご承認を頂ければ、この表紙でいきたいと思っています。

<事務局>

●委員

- ・薄い緑が全体的に統一されており、良くなったと思う。
- ・ただし、イラストやキャラクターが大きすぎるのではないかと思う。
- ・表紙については、全体的に写真のバランスなどを検討して頂ければと思う。
- ・どこに置けば良いのかという話があったが、私も小学校へ置くのが良いと思う。

●委員（都市基盤整備部長）

- ・事務局では小学校4年生ぐらいの子に興味を持たせるために、イラストやマンガなどがあると良いと思ったのではないのでしょうか。また、私からも指摘ですが、茶色の帯と緑の帯で、番号が付いているものと付いていないものがあり、違いがよく分かりません。

委員長

- ・数字が白抜きになっていたり、逆転していたりするものもある。

●委員（環境清掃部長）

- ・小学校の4年生でカリキュラムの中に環境学習が出てきます。先ほど小学生に配布したら良いとのご意見がありましたが、これだけ漢字が入っているので、小学校の低学年には厳しいと思います。もし配布するのであれば、環境学習を行う学年とすることも一つの案と思います。

●委員

- ・2頁のマークにある区民向けとファミリー向けの違いは何か。

→ファミリー向けは、観察会や学習会、野菜と花の品評会のように、家族でそろって出かけることを意識しましたが、これも検討させていただきます。

<事務局>

●委員

- ・マークは、できれば小中学生向けや、もっと若い子供たちが行けるマークも入れておくと良い。
- ・また、このパンフレットは、総合学習、環境学習の授業の中で使っていくことが良いと思う。

●委員

- ・区民向けとファミリー向けという区別はない方が良いと思う。
- ・事業者向けのマークは、もっとハッキリと違いが分かるデザインが良いと思う。
- ・もし、小学校の教材にすることを考えれば、子供に馴染むテーマで、もっと分かり易い別バージョンの冊子を作る方が良いと思う。

委員長

- ・このパンフレットは、小学生には少し難しすぎると思う。
- ・小学生向けには別の副読本のようなものがあつた方が良いと思う。

→今回、総合パンフレットということで、小学生という意識はあまりありませんでした。区民全体に伝える、大田区のみどりの施策をまとめるというところに主眼を置いていました。ただし、このパンフレットの概要版を並行して考えており、子供たちに見やすいという視点を、概要版の方で反映できればと考えています。

<事務局>

委員長

- ・環境教育と連携を取って頂ければと思う。
- ・ところで、色々な部署からの話が教育委員会や学校にいても良いのかどうか。

●委員（環境清掃部長）

- ・環境と絡めて何か授業の中に入れるのであれば、教育委員会と事務局との間ですり合わせが必要です。子供向けの冊子を作って配布したいのであれば、できる話であると思います。いずれにしても、どういうふう子供に向けて発信していくのかを整理してから動き出す必要があります。

委員長

- ・議論をまとめると、このパンフレットは、これはこれで作るということでどうか。
- ・概要版も含めてこのパンフレットの使い方は議論を先送りさせて頂くということでよいか。
- ・使い方は、事務局で検討し、何がしかの方法でご報告して頂くことでよいか。

●委員（まちづくり推進部長）

- ・今日、パンフレットに関する修正点についてご意見を頂きました。
- ・それを踏まえて最終的なものを皆様に年度内にお送りさせていただきます。
- ・概要版は郵送などでお送りし、それをどう活用していくのかについては、来年度の宿題にさせて頂ければと思います。

●委員

- ・まちづくりに関心を持ってもらうことが一番大切だと思う。
- ・どこに配り、どこに置けば区民に関心を持ってくれるかということである。
- ・こういうパンフレットが手元に届かないと、なかなか関心を持たないと思う
- ・是非身近に置けるような工夫を考えて頂きたいと思う。

●委員

- ・パンフレットを見て、非常に練ったものになっているので感心した
- ・まちづくりについてだが、事業主が緑化活動についてどの程度意識をしているのかを知りたい。
- ・事業主は、良い意味での協力、緑化を考えていく必要があると思う。

委員長

- ・緑化計画と景観計画がもっと上手くリンクできれば良いと思う。
- ・事業者向けの部分を強調できれば良いとは思いますが、緑化の手引が別冊であるので、事業者にはそちらを読んで頂き、このパンフレットはもっと幅広く考えられているという理解でよいか。

→事業者に関する部分ですが、このパンフレットでは、「建築・開発・不動産などまちづくりに関わる事業者の皆様へ」の中で、緑化の計画、景観計画について整理しています。＜事務局＞

委員長

- ・パンフレットについては、色々ご意見を頂いたので、事務局で検討して頂き、結果を反映して一度私に見せて頂きたい。
- ・池邊先生も可能であれば見て頂き、もし必要があれば修正し、それを経て今年度中に各委員にお知らせをするという手続きで進めることでよいか。

●委員

- ・タイトルをもう少し考えて頂ければと思う。
- ・「みどりのまちづくりに向けて」とし、「地域力～」はその下に使ってはどうか。
- ・「地域力で大田区の緑を」など、分かり易く、魅力的なタイトルにして頂ければと思う。

●委員

- ・目次で18項目あるが、18項目を眺めるのは大変なので、これを要約して5つぐらいにまとめると、もっと取組み易くなると思う。
- ・また、こういうことをやりましょうといった具体的な目的を持たせることで、みんなに参加する意識を持って頂くことが大事ではないかと思う。

委員長

- ・子ども向けに使うテキストは、もっと簡単にして、みどりを増やしましょうとか、守りましょうとか、ある程度大きく、括りをつけて説明する必要がある。
- ・しかし、このパンフレットは、小学生にはとても難しく理解できないと思う。
- ・次年度は、事務局で使う場所、使う意義・意味をよく絡めて検討して頂ければ良いと思う。
- ・このパンフレットは、年度内に作成する必要がある、それに間に合うように皆さんに最終案をお送りし、使い方や配布の仕方は、次年度に検討するという事で、この件をまとめたいと思う。

●委員（まちづくり推進部長）

- ・委員長、副委員長に事前に見て頂いて、その上で最終的な修正をしたものを各委員の皆様へ年度内にお送りします。できるだけ皆様から頂いたご提案、ご意見は反映するようにします。

(4) 主な事業の進捗状況について

<事務局より資料説明>

●委員

- ・大変ありがたい運動をしているグループがこんなにいるとは、今初めて知った。
- ・大岡山の取組はPRするべきで、輪を広げていけば参加者も多くなっていくと思う。

●委員

- ・「川と干潟のみち」のことは知らなかったが、是非行ってみたいと思う。
- ・ホームページに掲載すると、出かけるきっかけ、六郷土手の価値を見直すきっかけになると思う。

→前は池上の「縄文のみち」のパンフレットを作っています。今年度は、「海と埋立地のみち」のパンフレットについても計画中です。

<環境・地球温暖化対策課長>

委員長

- ・ほぼ予定の時間になったが、意見があったという方もいると思う。
- ・皆様から意見から頂くのはいつまでになるか。

→中間見直しの冊子は本日ご承諾を頂いたので、委員長に最終的に修正したものを見て頂こうと思います。中間見直し以外は、パンフレットも含めて2月19日までにご意見を頂ければ反映できると考えています。議事については以上ですが、その他ということで報告事項があります。

<事務局>

→お手元に「緑化計画書の作成に関わる敷地面積等基準の改正について」という資料を用意させて頂きました。これまで不明確だった基準を明確化しています。透明性、公平性を高めるために、施行規則や指導要綱を改正したいとの考えを持っています。改正は今年の4月1日を予定し準備しています。

<建築審査課長>

委員長

- ・別の区でもお手伝いしているが、やはり、緑化と景観を上手く連動させると効果があると思う。
- ・そのあたりも検討されるとよろしいかと思う。

5. 閉会

以上